

鏝人

kotebito

シラス壁とは長い付き合いになりました



▲職人歴50余年の中川さんは、無駄のない動きでシラス壁を仕上げにいった外装材：スーパー白洲そとん壁W かき落とし仕上げ

中川 左官



【中川昭二さん プロフィール】

昭和30年代、日本瓦の製造業を営んでいた中川さんの祖父が、建材販売業の将来性に着目。長男だった中川さんは、家業を助けようと大阪に出て左官建材のリサーチを兼ねて、16歳で左官職人に。やがて左官業の魅力にとりつかれた中川さんは、故郷の徳島に戻らず大阪にとどまり、左官職人として独り立ちした。これまでに、シラス壁を300現場以上施工している。高千穂シラスの営業スタッフたちとも懇意で「担当が変わった後も連絡を取り合っている」という。徳島県出身、昭和20年生まれ。現在69歳。

シラス壁を塗っている左官職人さんに話を聞く、連載シリーズ“鏝人”。第2回目となる今回は、大阪府を拠点に住宅をはじめとする様々な左官工事を手掛ける中川左官 中川昭二さんの声を聞きました。左官職人歴53年の熟練の職人が感じるシラス壁の魅力に迫ります。

——シラス壁を使い始めたのはいつ頃からですか？

中川 かれこれ13~14年になるかなあ。頻繁に使われてもらってるので、もっと前から使うてる気もするんやけど。シラス壁が発売されたのが15年前やって聞いたので、ずいぶん初めの時分からの付き合いやな。最初は「使いにくい材料やな」って思いましたよ。でも年々改良されていって、いまではすっかり塗りやすくなりましたね。

——中川さんたちの声を取り入れて、弊社もシラス壁の改良に励みました。

中川 職人は贅沢やからね。「もっと塗りやすうしてや」とか、いろいろと言わせてもらいました(笑)。シラス壁が改良されていく一方で、私ら職人も使い方を工夫するようになって、うまい塗り方を編み出していきました。シラス壁と似たような機能を持った壁材は他にもありますが、コストも塗りやすさも私にとってはシラス壁が一番です。



▲「気を使う箇所のひとつ」と中川さんが語った出角の処理もパッチリ決まっていた

◀戸建住宅の外装を施工

技術講習会で仲間と情報交換できる

中川さんは、長年に渡り弊社開催の技術講習会に積極的に参加。シラス壁に詳しくなると同時に、職人同士のネットワークも築いていったのだという。

——中川さんにとって「技術講習会」とは？

中川 技術講習会は、塗り方やシラス壁に関する情報を知れるだけでなく、職人仲間との情報交換の場としても役に立ちますね。職人や言うても“儲かる・儲からない”の情報は気になりますから「どこそこで何々が安く売ってるで」とか、そんな話もできる。名刺交換こそしませんが、顔が繋がっていくので、手が足りない時の応援も頼みやすくなりますし。職人にとって非常にありがたい場です。

——シラス壁を塗る時に気をつけていることは？

中川 仕上げのタイミングを見極めることです。塗り自体は、一人前の左官職人やったら難しいことはありません。実は、案外やわらか目でも上手くいきます。いずれにしても材料のクセを覚えれば大丈夫。私にしてみれば、いまや非常に扱いやすい材料だといえます。

——シラス壁に関する経験が豊富な中川さんのところには、情報を求めて全国のLNサポートの会の職人さんたちから電話がかかってくるそうですね。

中川 そうなんです。実は、さっきも東北の職人さんから電話がありました。同じ職人同士だからなんでしょうね(笑)。

——どんな質問が多いですか？

中川 角の取め方や、見栄えの良い仕上げ方の質問が多いですね。電話で伝えきれへんときは、写真を撮って送ります。



▲足場の上での作業に精が出る



シラス壁は多くの職人が認める存在

シラス壁の特徴をよく知る中川さん。現場に来たお施主さんにシラス壁をすすめることもあるそう。お施主さんからは好評だという。

——どんな方にシラス壁をすすめるのですか？

中川 「ちょっとよそとは違う材料がいい」というお施主さんには「こんなんでしょうか?」って言って事例写真を見せませぬ。先日は「タイルじゃない床材はないのか?」って聞いてきたお施主さんに、シラスの舗装材・白洲土タタキをすすめたらエライ気に入ってくれて、こっちもうれしくなりました。あとシラス壁は、リフォームにも向いていると思います。「時間が経ってクロスは剥がれてきた」なんて場合は、壁を塗った方が早いし高級感もある。シラス壁なら、調湿機能や消臭機能もあるので自信を持ってすすめられます。

——シラス壁が使われる場面は以前と比べて増えましたか？



▲現場には中川さんの息子さんも

コラム “LNサポートの会”とは？

シラス建材を使用する業者様を結ぶネットワーク、それが“LNサポートの会”です。現在の会員数は全国に約170社。材料購入時に特典がある他、会員同士の親睦や情報交換にもご活用いただけます。本会を通じて、施工技術や、住む人の健康・安全・安心を守るための意識を高めていただければ幸いです。“LNサポートの会”にご興味のある左官店様は、弊社担当者までご連絡ください。
※LNについて…もとなはライフニックスという言葉。これはlife(生命)とtechnic(技術)を融合させた造語。高千穂シラスのシラス壁の販売を行うライフニックス事業部の名称。

中川 最初の頃に比べればだいぶ増えたんちゃうかな。よそに応援を頼んだときに「そとん壁なら塗ったことあるから手伝いにいくで~」なんて声が返ってくることも増えましたね。でも、シラス壁を塗る頻度はここ数年似たような感じかも。それは悪い意味ではなくて、シラス壁が市場に浸透して、職人からも認められて、これからも使われ続けるってということやと思う。ダメな材料やったら「こんなアカンわ」って、とっくに消えてるやろうから(笑)。

——最後に、中川さんのこれからの目標は？

中川 ホンマはもう隠居しようかと思うとったんですが、娘婿が「左官職人になる」って言い出したので、一人前にするまでは引退できなくなりました。いまは若い職人が減っているから、技を引き継いでいかないと。高千穂シラスさんには、これからもお世話になりますよ。



▲傾合いを見計らい、中川さんはかき落とし仕上げを施していった